

令和5年度 学校運営連絡協議会実施報告書

1 組織

- (1) 都立江戸川高等学校 学校運営連絡協議会（定時制課程）
- (2) 事務局の構成 教務主任＝事務局長 計1名
- (3) 内部委員の構成
校長、副校長、経営企画課（室）長、教務(進路兼務)主任、生活指導(保健兼務)主任、計5名
- (4) 協議委員の構成（氏名の掲載も可）
元同窓会役員、相談医、近隣中学校長、近隣自治会長、警察（スクールサポーター）
計5名

2 令和5年度学校運営連絡協議会の概要

- (1) 学校運営連絡協議会（第1～3回）の開催日時、出席者、内容、その他
 - 第1回 令和5年6月30日 内部委員5名、協議委員2名
協議委員委嘱、委員紹介、学校サポート委員委嘱、学校経営報告、学校経営計画
本校の現状と課題等説明、意見集約、授業公開
 - 第2回 令和5年11月24日 内部委員5名、協議委員4名
これまでの教育活動に関する報告、協議委員からの教育活動に対する意見
学校評価の内容検討、協議、授業公開
 - 第3回 令和6年2月8日 内部委員5名、協議委員3名
これまでの教育活動に関する報告、学校評価の報告、次年度に向けた方向性・課題の確認
協議委員からの教育活動に対する意見集約
- (2) 評価委員会の開催日時、会場、出席者、内容、その他
 - 第1回 令和5年6月30日
評議員の委嘱、学校評価の基本方針の確認
 - 第2回 令和5年11月24日 内部委員1名、協議委員1名
学校評価の基本方針の確認、今年度の学校評価の観点・項目、内容の検討、実施時期の検討
 - 第3回 令和6年2月8日 内部委員1名、協議委員1名
評価報告書（原案）の検討、アンケート集計結果の分析・考察、課題の整理

3 学校運営連絡協議会による学校評価（学校評価報告）

- (1) 学校評価の観点
「学校への理解」「学校の意欲」「学校の実践」の観点で実施する。
- (2) アンケート調査の実施時期・対象・規模

・11月	全校生徒	対象：108人	回収：88人	回収率：81%
・12月	保護者全員	対象：106人	回収：4人	回収率：4%
・12月	地域・住民	対象：人	回収：5人	回収率：%
・12月	教職員	対象：13人	回収：13人	回収率：100%
- (3) 主な評価項目
 - ・※学校運営、学習指導、生活指導、進路指導、特別活動・部活動、学校行事、健康・安全、ライフワークバランスの推進など
- (4) 評価結果の概要（校長や学校全般への意見・提言内容）
 - ・生徒は本校の学校生活について満足している。
 - ・生徒は授業や生活指導についてもおおむね満足している。
 - ・教員のアンケート結果は、生徒・保護者より肯定的な意見が高い項目が多い。
 - ・保護者・地域からの回答は少なく、理解度も低い。
- (5) 評価結果の分析・考察（校長や学校全般への意見・提言）
 - ・教員間でうまく連携をとりながら教育活動を行っている。
 - ・多様な定時制生徒の実態に合わせ、教員は工夫しながら授業を行っている。
 - ・学校行事については、一定の評価を得られている。
 - ・情報発信をホームページで随時行っているが、保護者や地域の方々には伝わっていない。

4 学校運営連絡協議会の成果と課題（学校の自己評価へ反映）

(1) 学校運営連絡協議会を実施して得られた成果

- ・生徒の授業を観察して、まじめに取り組んでいる生徒が多くなったとの評価を得た。
- ・学校行事等で生徒が、しっかりと活動していたとの評価を得た。

(2) 学校運営連絡協議会を実施して明らかとなった課題

- ・近隣の住民が学校の実態を理解するためには、防災訓練等共同の作業を実施する必要がある。
- ・より適正な評価を行うためには、協議委員に対して、もっと情報提供すべきである。

5 学校運営連絡協議会及び学校評価を活用した教育活動の改善事項（学校経営計画へ反映）

(1) 学校運営

- ・生徒・保護者に対して、学校の教育方針を説明し理解を得るようにする。
- ・ほぼ隔月行う校内研修会の充実を図り、教職員の能力を育成していく。

(2) 学習指導

- ・基礎・基本の学習を徹底させつつ、生徒みずから考える授業展開を心がける。
- ・オンライン授業を行う体制整備を図ったが、実際に使用しての効果はあまり期待できない。

(3) 特別活動

- ・部活動、学校行事などを充実させる。

(4) 生活指導

- ・保護者、関係諸機関との連携を図りながら、生活習慣や心のケアの問題に取り組んでいく。

(5) 進路指導

- ・キャリア教育を充実させ、個々の希望に応じた進路実現を図る。

(6) 健康・安全

- ・生活安全教室、薬物乱用教室、セーフティ教室を継続して行う。

6 「学校が良くなった」と考える協議委員の割合

(1) 協議委員人数 5人

(2) 学校が良くなったと答えた協議委員の人数

そう思う	多少そう思う	どちらとも言えない	あまりそう思わない	そう思わない	分からない	無回答
3	2					

7 職員会議及び企画調整会議への協議委員の参加実績及び成果

【実績】 職員会議 0回 延0人 企画調整会議 31回 延0人

【成果】 特になし

8 その他

- ・アンケート回収率の向上が課題だが、今回も生徒と教職員に対して Microsoft Forms を活用してアンケートを実施したところ、アンケート結果の集計の効率化を図ることができた。
- ・学校からの情報発信力を更に高めていく。ただ、地域の自治会長は高齢化していて、学校のホームページを見るなどをしない。火の用心の地域巡回を開始したので、少しは関心をもってもらえるか。